なくす会 東西南北

大軍拡、大増税反対の怒りの集会に80人

●青森市の会

青森市の会、青東各界連、青東社保協は4月17日、青森駅前公園で「消費税引き下げろ、インボイス中止」「医療・介護・社会保障充実を、年金上げろ」「大軍拡・軍事費増大に反対」怒りの青森集会を開催し80人が参加しました。なくす会の齋藤恵子代表ら6人が訴えました。また23日には、なくす会など5人で街頭宣伝も行いました。

浦野税理士招いて学習会開く、各界連強化を確認

●福島県の会

福島県の会と福島県各界連は4月18日、「消費税減税・インボイス廃止」を求める学習会を二本松市で開き30人が参加しました。講師の浦野広明税理士は「高市積極財政は、大軍拡と大企業とアメリカのための積極財政。あるべき税制は応能負担と累進税率。国民生活の苦境からの打開のためには消費税を5％に下げ、その先に廃止を勝ち取る運動が急務だ」と強調しました。消費税減税が現実味を帯びている今こそ、学習を力に署名・宣伝を強め、各界連の活動再開・強化に努力しようとの行動提起を確認しました。

また24日には、福島県の会は福島駅前で宣伝。佐藤仁子世話人がチラシ30枚を配布しました。郡山の会も24日、郡山駅前で10人が宣伝、署名が25人から寄せられました。

ロングラン宣伝で署名も35人から

●愛知の会

愛知の会は4月25日、名古屋市中区栄でロングラン宣伝、20人が参加し署名は35人が応えてくれました。もとむら伸子元衆院議員、インボイスの会の廣瀬仁亮さんも弁士に立ちました。若い買い物客も多く、ネパールから来たという4人の女性も珍しそうにチラシを受け取っていました。

希望語り対話を継続、「やはり消費税減税」と会社員

●三重の会

三重の会と三重県各界連は4月24日、津市センターパレス前で4団体6人で宣伝。5人から署名が寄せられました。桑名地区各界連も同日、3団体7人が宣伝。元議員の70代女性は「運動しても変わらん」「議員時代は年配の人の意見を聴かんとあかんかった」と言うので、「あなたの苦労は分かります。その苦労があるから今があります。私が引き継いで頑張ります」と話すと、「頑張ってね」と返してくれました。「物価高対策は難しい」と話す20代の会社員とも対話し「やはり消費税減税」と答えてくれました。

戦争を止めることが最大の物価対策と大学生に訴え

●京都の会

京都の会は4月18日、京大生が多く行きかう京都市左京区百万遍交差点で8人が宣伝、14人が署名に応えてくれました。

無法なイラン攻撃を批判もせず軍事費ばかり増やす高市政権に対し、「戦争を止